

Level 1

A New Home(あたらしい家)

作・ジャン・バーチェット / セアラ・ネイラー

絵・セアラ・ネイラー

<読むまえに>

お子さんが読むまえに、この本についてお子さんと話しましょう。

- ・表紙と裏表紙を見ましょう。この本にどんなことが書かれているかヒントがみつかります。
- ・表紙の家は何に見えるでしょう？(ブーツ) お話の中でどんなことが起きると思う？

<読んでいるときに>

自分のスピードで読めばいいよと、お子さんに言ってあげましょう。

読みながら単語を指さしてみようと、お子さんに提案してください。

お子さんがつかえたときは、次のようにうながしてお子さんを助けてあげてもいいでしょう：

- ・ことばを声にだしていってごらん。
- ・ここにはどんなことばが合うかな。
- ・絵を見るとわかるよ。

<ひっかかることば>

shoe 靴

home 家

the その

new あたらしい

[p. 2]

メグの住まいは、靴のなかです。

[p. 3]

「いっばいだよ！」

この靴は、見えそうにありません。

[p. 4]

メグは、あたらしい靴を手にいれました。

[p. 5]

「すごくぬれる！」

この靴は、見えそうにありません。

[p. 6]

メグは、あたらしい靴を手にいれました。

[p. 7]

「暑すぎる！」

この靴は、使えそうにありません。

[p. 8]

メグは、あたらしい靴を手にいれました。

[p. 9]

「くっさー！」

この靴は、使えそうにありません。

[p. 10]

メグは、大きなブーツを手にいれました。

[p. 11]

このブーツは、使えそうです。

[p. 12]

メグの住まいは、ブーツのなかです。

< 読んだあとで >

読んだあとで、この本についてお子さんと話しましょう。

こんな質問を試みましょう：

- ・メグが新しい家を手に入れたのは、どうしてかな？
- ・メグの靴の家は、どこが具合が悪かったのかな。
- ・お話しの終わりには、何が起こったかな？
- ・お話しはおもしろかった？ どこがおもしろかった／どこがおもしろくなかった？

この話をまた読んでみようとお子さんにすすめてください。読む自信をそだて、つかえずに読めるようになります。

< ほかにすること >

この本のことをくりかえし話題にしましょう。

お子さんは、メグと子どもたちが住む靴の家の絵を、もうひとつ描いてもよいでしょう。